令和6年度第1回 市民参加制度審査会 会議録

日時 令和6年10月15日（火）

9時30分～12時00分

場所 市役所5階 第2会議室

出席者 牧瀬 稔会長

石田 晴美委員 釧持 麻衣委員

中野 良一副会長 酒井 一豊委員

森田 房江委員

事務局 市民協働課 新倉課長

市民協働課 小野田市民協働係長、北村主事補

【牧瀬 稔会長】 それでは、これから議事に入っていきたいと思います。

次第の1ですかね、に入っていきたいと思います。

ちょっと1点質問で申し訳ないんですけども、今日はこちらを審査するんですね。

【市民協働課・小野田係長】 紫色のファイル、こちらのほうが対面審査ということで、1番から16番です。これから関係所管が入れ替わりに説明に上がります。そして同じく青色のファイルです。こちらのほうは全て評価案件になっておりまして、今回、書面審査という形でできればと思っております。

【牧瀬 稔会長】 質問なんですけれども、書面審査ということは、今日頂いている資料のタイムスケジュールがありますよね。次第があつて、名簿があつて、スケジュール16までが対面で行って、11時40分以降が、こちら行うという。

【市民協働課・小野田係長】 はい。

【牧瀬 稔会長】 そうですか。じゃ、11時40分以降に8分単位で一気にやるという。

【市民協働課・小野田係長】 はい。

【牧瀬 稔会長】 そうですか。分かりました。ようやく理解しました。それで進めていきたいと思しますので、8分ということですので、結構進めていきたいと思しますので、皆さん、初めての方は大変かもしれませんが、ちょっと頑張ってください、付き合ってくださいなと思います。

では、もう進めちゃってよろしいですか。

【市民協働課・小野田係長】はい。

先にお手元に配付した資料の確認をさせていただきます。

まず、クリップ止めで、配付した資料が次第、そして委員の方の名簿、そして今日のスケジュール、そして審査評価一覧表、審査評価表がついております。

そして、同じく大きめのファイルが2つお手元に置かせていただいております。今、委員長からお話ありました紫のファイルに関しましては、今回、対面審査で行う1から16のもの、そして青いほうは書面審査を行っていただく17から30の資料になります。

そして、参考資料ということで、皆さんお手元に市民参加条例、市民参加条例施行規則、あとは市民参加条例の逐条解説とガイドライン、こちらのほうを机上に配付させていただいております。

資料等おそろいでよろしいでしょうか。

【牧瀬 稔会長】よろしいですか。

もう既に時間がオーバーしておりますので、ちょっと大変かもしれませんが、手際よくというか、中身はしっかりやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、1番目です。紫のほうのファイルを見ていただきまして、それから、こちら一番最初になります。評価案件になります。こちらにつきまして、担当課のほうの説明のほうをよろしく願いいたします。

【市民協働課・小野田係長】それはお手元の書類、紫のファイルめくっていただいた1番上の書類です。生涯学習プラン及び社会教育推進プランの統合について、ご報告いたします。

まず、概要ですが、今まで生涯学習推進プラン、共育のまち推進プラン、そして社会教育推進プランと、3つのプランを策定しておりましたが、それぞれに懇話会や委員会、組織されておりまして、どうしても目標、目的などがおのおの若干重なることもございまして、この3つのプランを統合し、新しいプランを策定することといたしました。

これのプランの統合についての市民参加の方法として、令和4年第1回の審査会で、委員の皆様は審査いただいたとおりの流れで進めていきました。昨年7月に共育のまち推進懇話会、同じく生涯学習推進懇話会、開催しまして、12月に市民の説明会です。その後、パブリックコメントを実施いたしました。

審査会からの指摘事項につきましては、生涯学習の懇話会に市民委員が欠けているということですから、共育のまちの推進懇話会と共同開催を行うことを検討することとご指摘いただい

ていたんですけれども、会の調整がかなわずまだ実施はできておりません。新たな委員の公募も、プランと応募は懇話会で対話することも検討していただきましたので、難しいと判断いたしました。しながら、市民の皆様から広く意見いただくため、各懇話会のメンバー選出母体からもご意見いただくことや、各懇話会や委員会に所属しているメンバーが中心となって、3つの懇話会、委員会と協力、連携しながら意見を取りまとめまして、パブリックコメントを策定いたしました。

このパブコメ、10件の意見いただいております、いただいた意見を盛り込み、本年4月から新しいプランを策定されて、今事業を進めているところでございます。

以上で、報告のほうを終わらせていただきます。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

今回初めてご参加したお二人に、ちょっと一言なんですけれども、今回はあくまで市民参加をしているか、していないかというチェックになりますので、この中身の政策云々ではなくて、この政策をする際に、市民が入っているか、入っていないかという、その観点でご意見、ご質問いただきたいなと思います。この政策、よくないよとか、結果よくないよではなくて、市民参加ができたか、できないかという部分で、ご意見いただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

じゃ、こちらにつきまして、ご質問等あればいただきたいと思います。

では、お願いします。

【石田 晴美委員】今のご説明で、3つの懇話会というお話でしたけれども、共育のまち推進懇話会と、それから逗子市生涯学習推進懇話会と、あともう一つは。

【市民協働課・小野田係長】もう1点が、社会教育委員会議でございまして、我々の所管が、今お話しいただいた生涯学習推進懇話会と、共育のまち推進懇話会なんですが、もう1つ、社会教育課のほうで所管している社会教育委員会議、こちらのほうの3つで行っていたということでございます。

【石田 晴美委員】分かりました。

今回のこの逗子市生涯学習推進懇話会は、公募市民の割合がゼロだったので、審議会としてはほかの市民参加がされている懇話会との共同開催を検討することという指摘があって、今の社会教育委員会議っていうのは、市民公募がいるのですか。

【市民協働課・小野田係長】はい、いらっしゃいます。

【石田 晴美委員】共育のまち推進懇話会のほうにも。

【市民協働課・小野田係長】はい。

【石田 晴美委員】だけれどもできなかった。できなかったけれども、両懇話会に参加している委員を中心にとというのはどういう意味ですか。

【市民協働課・小野田係長】両懇話会で、重複していらっしゃるメンバーがいらっしゃいまして

【石田 晴美委員】でも、重複しているっていうのは市民公募じゃないですよ。

【市民協働課・小野田係長】選出母体の方からになります。

【石田 晴美委員】ですよ。

【市民協働課・小野田係長】市民ではあるんですけども。

【石田 晴美委員】ですから、私たちのこの指摘っていうのは、市民公募が足りないから、市民公募があるほかの委員会との共催を検討してっていうことなので、ほかの委員会で市民公募じゃない人の意見を聞いても、市民の意見を聞いていることにならないと思うんですけども。

【市民協働課・新倉課長】おっしゃるとおりかと思います。1年間の中で、委員会の新しい委員の方を公募して、それから会議を進めるとなると、ちょっと検討の作業が……

【石田 晴美委員】分かりました、分かりました。それはもう分かっているのです。

【市民協働課・新倉課長】ちょっと説明のほうを。

【石田 晴美委員】どうぞ。

【市民協働課・新倉課長】すみません。それで、ほかの委員会もそうなんですけれども、選出母体の中から、その先の会員さんとか、市民の方の意見を吸い上げてきていただいて、お話を伺うというようなお願いもさせていただいた上で、代替の手段という意味ではちょっと違うかもしれないんですけども、広く意見を吸い上げたというような形を取らせていただきました。

【石田 晴美委員】今のお話は分かりますが、私たちは市民の意見を聞いてほしいってことだったので、逆に両懇話会の中に市民公募が一定数いるわけですよ。その方たちに共同開催ができないのであれば、逆に書面で意見を聞くってことはされたんですか。市民公募委員。だから、社会教育委員会と共育のまち推進懇話会には、市民公募の委員が20%以上いるわけじゃないですか。その人たちに直接話を聞くように、あるいは意見を言うようにという努力というのはされたんですか。

【市民協働課・新倉課長】私たちも社会教育委員会と共育のまちの会議でもそのような形で、同じプランの統合、同じ資料を基にご意見をいただくという形ですので、市民の委員の方からもご意見はいた

だいております。

【石田 晴美委員】分かりました。整理すると、共同開催はかなわなかったけれども、議事の中に全く同じ生涯学習活動推進プラン及び社会教育推進プランというのを審議する場が、ほかの2つにもあったということですか。

【市民協働課・新倉課長】はい、そうです。

【石田 晴美委員】分かりました。そしたらこれ評価表っていうのは、何で1個なんですか。同じものが2つあるんですか。

だから、ここ、こういうふうになっていて、生涯学習のこれについて、社会教育委員会議と共育のまち推進懇話会もしているのであれば、何だろう、備考かなんかに同じことを市民公募がいるところでもちゃんとやっているって書いてあれば、それはそれでいいんだけど、それはないのですか。

【市民協働課・新倉課長】これ、最初に審査をしていただく段階で、プランの統合、新しいプランをつくりますよっていうことで、委員会が2つありますよっていう、審査していただくときにも、1つの案件で2つの懇話会からご意見いただきますよということで、審査をしていただいております。

【石田 晴美委員】だけど、今、これだけだと見えないということだ。

【市民協働課・新倉課長】そうです。

【石田 晴美委員】分かりました。

【市民協働課・新倉課長】すみません。説明がちょっと足りなかった。

【石田 晴美委員】いえいえ。ではそうか、審査のときに、共同開催と言わなくてもよかったかもしれない。

【市民協働課・新倉課長】そうですね。

【石田 晴美委員】分かりました。承知しました。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

じゃ、よろしいですか。

今の議論で適当ということで、よろしいですか。

ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】では、続きまして、ナンバー2になります。

こちらにつきまして、説明をお願いいたします。

【市民協働課・小野田係長】では、引き続きまして、地域活動センター（久木会館）の移転についてご報告いたします。

逗子市立の久木小学校老朽化から長寿命化工事を行うこととなりまして、それに併せて、隣接する久木会館も一緒に建て替えを行うことといたしました。こちら平成4年第2回の審査会でご審査いただいたとおり、昨年4月から4回ワークショップ行いまして、報告書としてまとめて意見を盛り込み、6月パブリックコメントを実施しております。

今回、審査会からの指摘事項として2ついただいております。

まず、ワークショップの開催に当たっては、参加者以外からも広く意見をもらえるような工夫をすることとご指摘いただきましたので、久木会館の建て替えに関する意見書というものをつくらせていただいて、久木会館の中に配架いたしまして、来館者を中心にワークショップの参加者以外からも意見を聴取いたしました。合わせて十数件程度ですか、ご意見いただいております、この内容はワークショップの中で議論を行い、内容に反映しております。

同じくもう一つ、ワークショップの概要は、開催の都度、公表を検討することとご指摘いただいておりますので、皆様に資料として今お示ししているワークショップの概要、こちらにつきましては、開催都度、ホームページにて公開することと、久木会館内で配架もしております。

また、ワークショップの報告書、取りまとめたものです。こちらも同様に、ホームページで公表しております。

以上で報告のほうを終わらせていただきます。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

こちらにつきまして、ご質問等あればいただきたいと思います。どうでしょうか。

こちらよろしいですか。

じゃ、こちらもこういうことで進めたいと思います。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】替わりまして。

新任委員のお二人、今度は審査になりますので、今までは評価でして、今、2つやったのは評価なんです。前回、決まったことに対してやっていただいて、どうだったんですかということになりまして、今度は審査になりますので、こんなことをやったらどうでしょうかとか、これじゃ少ないんじゃないのということになりますので、何か意見があれば。多分意見しやすいと思いますので、もし何かあれば、遠慮なくいただきたいなと思います。

では、続きまして、今度は審査になりまして、担当課のほうから、まず、逗子市情報公開条例の一部改正について、説明のほうよろしく願いいたします。

【情報公開課・大澤課長】よろしく願いいたします。

それでは、情報公開条例の一部改正について、こちらのほうをご紹介させていただきます。

こちら、対象区分になりますが、市民権利を与え、また義務を課し、もしくは市民の権利を制限する事項、その他市民生活に重大な影響を与える条例の制定及び改廃。主な対象者として、市民及び事業者となります。

事業の概要としましては、情報公開条例第6条の2について、個人情報の保護に関する法律の改正を考慮し、情報公開制度の目的である開かれた市政の実現、並びに個人情報の保護に関する法律の目的である行政機関等の事務及び事業の適正かつ円滑な運用を図り、個人の権利利益を保護することに配慮した規定に改正する。また、逗子市情報公開条例第18条第3項について、原本の破損、劣化、電子決裁導入につき、紙媒体の原本が存在しない場合に対応するため、保管方法について改正する。

実施する市民参加の方法といたしましては、パブリックコメント及び市民の参加した審議会による審議ということになります。

添付の資料としましては、こちらの審議会の委員名簿、それから一部改正の整理、市民参加の実施予定が6年、完了についても6年ということを予定しております。

実施する市民参加の方法を選択した理由、方針につきましては、条例の改正事項について、情報公開の運営審議会に諮問いたします。

それから、条例の改正事項に対して、広く市民から意見を聴取するため、パブリックコメントを実施いたします。

次のページのほうに進みまして、パブリックコメントの媒体としましては、周知方法は市のホームページ、広報ずし9月号。それから閲覧場所は、こちらは通常ですが、担当課の情報公開課、それから沼間と小坪のコミュニティセンター、市民交流センター、文化プラザホール、図書館、逗子アリーナ、高齢者センター、体験学習施設となり、こちらのほうでパブリックコメントも実施します。

この付表の部分をご説明のほうをいたします。

審議会としましては、こちらは情報公開の運営審議会のほうございまして、こちらの構成は学識経験者2名、市民5名による構成となっております。今後の開催予定になりますが、令和7年1月にこちらの審議会のほうを開催して、審議会のほうで意見、討論していただいた上で、

最後答申をいただく予定となっております。こちらのほうの改正については以上となります。よろしく願いいたします。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

では、こちらにつきまして、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

よろしいですか。

じゃ、こちらは適当ということで、判断したいと思います。

すみません、こちら、お二人、新任委員の方、こちらの資料がありまして、ガイドライン、ガイドラインというのが多分あると思うんです。そのガイドラインの7ページにチェック項目というか、載っていますので、一応参考までに。

市民参加手順ガイドラインの7ページにこんなのがありまして、今、使っていた資料のところ、上から3つ目のところに、参加対象事項の区分というのがありまして、(1)から(6)まで書いています。例えば今の話だと(2)でしたので、(2)の場合ですと、ここです。審議会等とパブリックコメントは必要ですよみたいなことが書いていますので、さっき係長のほうから、さんざん説明していただいて、これを見ながらできたかどうかチェックするという、そんな流れになっていきます。場合によっては、言ったらば公募市民が少ないようであったりとか、あるいはあそこは少ないんじゃないのとか、そんなことをご意見いただければなと思いますので、一応これが一つの評価基準になっていますので、この観点で何かあれば遠慮なくご質問いただきたいと思います。こちらになります。

【牧瀬 稔会長】じゃ続きまして、ナンバー4です。こちらのほう、説明のほうよろしく願いいたします。

【情報公開課・大澤課長】続いて、同じ条例にはなるんですが、時期を違えています逗子市情報公開条例及び逗子市個人情報の保護に関する条例の一部改正についてご説明いたします。

市民参加の対象事項の区分としましては、(2)市民に権利を与え、また義務を課し、もしくは市民の権利を制限する条例、その他市民生活に重大な影響を与える条例の制定及び改廃。

事業の主な対象者として、市民及び事業者となっています。

事業の概要として、刑法の改正に伴い、逗子市個人情報の保護に関する条例の規定中、懲役を拘禁刑に改めるとともに、逗子市情報公開条例により設置している逗子市情報公開審査委員の罰則規定等について整理を行うもの。

実施する市民参加の方法といたしましては、パブリックコメント及び審議会等。こちらにつ

きましては、今年度中の条例の改正を目指している関係から、もう既に実施済みとなっております。

添付の資料といたしましては、情報公開運営審議会委員名簿、個人情報保護運営審議会委員名簿、情報公開条例及び個人情報の保護に関する条例一部改正についてのスケジュール、市民参加予定については先ほど触れましたとおり、令和6年度中で既に実施済みという状況となっております。

実施する市民参加の方法を選択した理由、方針につきましては、条例の改正事項について、情報公開運営審議会及び個人情報保護運営審議会に諮問する。条例の改正事項に対して広く市民から意見を聴取するため、パブリックコメントを実施するの2点となっております。こちらのパブリックコメントの配架場所につきましては、先ほどご紹介した内容にはなりますが、市のホームページ、広報ずし、こちら8月号で既に掲載が済みとなっております。閲覧の場所についても情報公開課、担当課としては情報公開課、沼間コミセン、小坪コミセン、市民交流センター、文化プラザホール、図書館、逗子アリーナ、高齢者センター、体験学習施設内、以上となっております。

先ほども触れましたとおり、既に実施しておりますと言っているパブリックコメントについては、8月の末から9月の下旬にかけて、実施のほうもパブリックコメント実施済みでして、こちらのほうは意見のほうがなかったということで、現在、該当意見なしということで、そちらの内容を、今ご紹介しましたパブリックコメントの閲覧場所のほうに配架をして、周知のほうを図っているところでございます。

それから、審議会につきましては、先ほどの条例改正でもご紹介した情報公開運営審議会が学識経験者2名、それから市民委員5名の構成でして、こちらは令和6年6月14日の開催のときに、既に審議のほうをいただいております、市民委員さんも含めた審議の中で、こちらのほうは了承されております。

それからこちらもう一つの審議会ございまして、次のページになりますが、逗子市個人情報保護運営審議会、こちらは学識経験者4名、市民委員1名の20%の配分での公募市民の方がおりますが、こちらのほうは令和6年5月17日に審議会のほうを開催いたしまして、こちらのほうでご検討いただいた結果、こちらの内容についてもご了承されている状況です。

説明としては以上となります。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

こちらにつきまして、質問等をいただきたいと思います。どうでしょうか。

じゃ、よろしいですか。

こちらも適当ということで、進めていきたいと思います。

どうもありがとうございました。

【情報公開課・大澤課長】ありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】では、続きまして障がい福祉課さんのほうでして、こちらも審査案件でありますので、何ありましたらコメントをいただきたいと思います。

それじゃ、説明のほうをよろしく願いいたします。

【障がい福祉課・黒川課長】障がい福祉課、黒川です。よろしく願いいたします。

障がい福祉課からは、第5期逗子市障がい者福祉計画、第8期逗子市障がい福祉計画、第4期逗子市障がい児福祉計画の説明をさせていただきます。

こちら、それぞれ障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法に基づく法定計画でございます。今現在の計画、令和5年度に策定した計画の中で、障がい福祉計画と障がい児福祉計画につきましては、こちら3か年の計画となっております。その障がい者福祉計画というものと、次回、令和8年からの計画ということで、一緒に一つの計画にまとめまして、また計画を策定するということでございます。

こちらの計画につきましては、公募市民が3人の審議会を開催しまして、その中には、学識経験者のアドバイザー、市関係の課、保健所、社会福祉協議会等が入っております。

その中で12回開催しまして、審議していくという流れです。

市民参加の手续といたしましては、パブリックコメントと意向調査、懇話会の中には市民委員の方が入っているという形ですので、この3つが市民参加の手续となりますといったところでは。

説明としては以上になります。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

じゃ、こちらにつきまして、ご質問等あればいただきたいと思います。どうでしょうか。

お願いします。

【石田 晴美委員】意向調査のところでは3,000件と計画をされている。今までのいろいろな意向調査を見ると同様なんですけれども、意向調査を郵送で3,000件やるのは、お金結構かかりますよね。

そのほかにかどうか、広く一般の市民の方に意見を募るという意味で、例えばQRコードで

アンケートのウェブ調査は、そんなにお金がかからないと思うんですけども、どうなんですか。どこかでウェブアンケートやっていたところありましたよね。

【市民協働部・新倉課長】昨年度。

【石田 晴美委員】今回も審査で出てくるところがあるんですけども、例えば確かに、確実に声を拾うっていうのは、アンケートを紙で郵送っていうのもあるけれども、今は障がい児者じゃなくても、将来障がい者になるかもしれないし、あるいは今は障がいは持っていないけれども、障がいのことについて興味、関心がある市民の方も多くおられる中で、やっぱりQRコードで、こういうふうにやっていますよというのは、ただ市民のほうがQRコードを入れればいだけだと思えます。いついつまでにと。今はスマホでぴっとやってアンケートというのもできると思うので、そういうものもちょっとご検討いただければ、ほかやっているところもおありになるのではないかと思います。

【障がい福祉課・黒川課長】意見の広さ的にも資金的というか、予算的にもそちらのほうが多分優れているんじゃないかというご意見だと思います。

【石田 晴美委員】そちらをやりなさいっていうことではなくて、それほどコストがかからないのであれば、追加でそういう方法の可否についてもご検討いただきたいということで、もう既に経験があるところもおありのようなのでということです。

【障がい福祉課・黒川課長】はい。

【市民協働課・新倉課長】すみません、事務局のほうから。

今年度の第1回の審査会で、答申の中でお話、ご意見もございまして、全庁的にその答申の通知は出しているところなので、今年度からできるところは始めてもらいたいと。

【石田 晴美委員】だけど、ここには書いていないんじゃない。なので、間に合うのであれば検討いただきたいということで。これでオーケーと言うと、次の評価のところ「やりませんでした」がオーケーになってしまうので、一応できるかどうかご検討いただきたいです。

【市民協働課・新倉課長】ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

じゃ、こちらは適当なんですけれども、QRコードによるアンケートは検討いただきたいということで、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】続きまして、今度は資源循環課さんのほうでして、最初は評価案件、その後が審査案件でありますので、よろしく願いします。

まずは、評価案件のほうから説明のほうよろしく願いいたします。

【資源循環課・今村主事】 よろしく願いいたします。本日、課長と係長が生ごみの分別収集・資源化についての市民説明会に出席しておりまして、担当のみの説明となってしまう申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。

私からは、生ごみの収集・処理方法の変更及び逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について、説明させていただきます。

この事業の主な対象者としては、市民の皆様となっております。

実施した市民参加の方法としては、パブリックコメント、審議会への諮問、その他として市民説明会を実施いたしました。

パブリックコメントについてですけれども、周知方法としては、市のホームページ、広報ずし11月号、その他として、ごみの分別アプリとLINEなどのSNSによる周知を行いました。

また、閲覧場所については、情報公開課、資源循環課、沼間、小坪の両コミュニティセンター、市民交流センター、文化プラザホール、図書館、逗子アリーナ、高齢者センター、体験学習施設といったところのほかに、子育て支援センターと療育教育総合センター、福祉会館、保健センター、商工会館、また、各地域の地域活動センターにもパブリックコメントの冊子を配架いたしました。

実施期間としては、令和4年11月7日から令和4年12月7日の1か月間を実施いたしました。結果の公表についても、同様の閲覧場所で配架をいたしまして、周知の方法としては市のホームページで公表いたしました。意見としては、11名の方から77件の意見をいただきました。

続きまして、審議会の諮問のほうですけれども、審議会は逗子市廃棄物減量等推進審議会という審議会に諮問をいたしました。こちらは市民3名、事業者3名、学識経験者3名で構成されております審議会となっております。令和4年6月27日に諮問をいたしまして、令和4年9月22日、令和4年10月14日の2回で審議をしていただき、10月14日に答申をいただいたという流れになっております。市民説明会については、計18回、令和4年度で開催いたしまして、延べ318名の方に出席をいただきました。

以上がご報告となります。

【牧瀬 稔会長】 ありがとうございます。

では、こちらにつきまして、ご質問等ございましたらいただきたいと思っております。

お願いします。

【石田 晴美委員】 市民説明会18回、延べ318人で非常によかったと思うんですけれども、318

人はこの調査書には書いていないんですよね。

【資源循環課・今村】すみません、はい。

【石田 晴美委員】記録に残るので、開催回数18回、延べ318人って、どこかに書いていただけたら。

【資源循環課・今村主事】はい。

【石田 晴美委員】書いていないんですよね。

【資源循環課・今村主事】ないです。

【石田 晴美委員】ないですよ。

【資源循環課・今村主事】はい、かしこまりました。

【石田 晴美委員】大変よかったですと思います。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】私からですけれども、審議会の名簿ってどこかにありますか。

【資源循環課・今村主事】審議会の名簿は、資料と一緒にお渡しをしていなかったかと思いません。

【牧瀬 稔会長】そうですか。名簿もつけてもらえればなという。なかった感じがしますので、それはつけてもらえればなと思います。

ほかにどうでしょうか。

よろしいですか。

では、適当ということで進めていきたいと思えます。ありがとうございます。

【資源循環課・今村主事】ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】では、続きまして、今度は審査につきまして、また説明のほうよろしく願いします。

【資源循環課・海老根主査】私のほうから、現在実施している生ごみ処理容器等購入費助成金と要綱の見直しの方針について説明させていただきます。

これは、現在、生ごみ処理容器等を購入した費用の5分の4を助成しているものなんですけれども、令和5年度から電動式の生ごみ処理機を助成対象にしており、こちらの条件が今年に1度になっている交付条件の見直しについて検討するものです。

市民参加の方法としては、11月の廃棄物減量等推進審議会において意見聴取を行い、11月以降にパブリックコメントの実施を予定しています。こちらにつきましては、電動式生ごみ処理機の助成件数が、再開したときに大変増えておりまして、各市の近隣の状況も踏まえ、議員さ

んから1年に1度市の申請に関してご意見もいただいて、なので、電動式生ごみ処理機についてのみの交付条件の見直しを検討するものとしております。

【牧瀬 稔会長】説明は以上ってことですか。

【資源循環課・海老根主査】はい。

【牧瀬 稔会長】では、こちらにつきまして、ご質問、ご意見等あればいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

よろしいですか。

特になければ、こちらは適当で進めていきたいと思ひます。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】では、消防総務課さんのほうから審査関係の説明のほう、よろしくお願ひいたします。

【消防総務課・鈴木係長】おはようございます。消防総務課の鈴木と申します。

市民参加の関係で、こちらの対象事項の名称としまして、逗子市消防署北分署及び逗子市消防団第5分団詰所の建て替え計画についてご説明させていただきます。

市民参加の対象事項の区分といたしましては、4号となっております。市の施設の設置改修に該当いたします。

当該事業の主な対象者といたしましては、記載のとおり、市民、消防職員及び逗子市消防団山の根地区を管轄しております第5分団の団員としております。

事業概要につきましては、調査書1、事業概要欄のとおり、逗子市消防署北分署及び逗子市消防団第5分団詰所の整備を4か年で行い、防災拠点としての機能強化を図りまして、安心・安全の確保、それと円滑な消防活動の向上を目指すものとしております。

実施する市民参加の方法といたしましては、パブリックコメント、地域の方への説明会を計画しております。

市民参加の方法を選択しました理由について、消防団詰所の単体での移転となり、会館機能がなくなることから、会館利用者をはじめ、市民の理解を求めるとさせていただきます。

市民参加の方法ですが、パブリックコメントの方法につきましては、付表をご覧くださいと思ひます。

付表について一部訂正させていただきます。開催日につきましてですが、記載は令和6年10月といたしておりますが、市民への周知期間を加味させていただき、11月に変更しております。11

月24日を現在計画しております。補足ですが、8月、9月に池子地区、久木地区の住民自治協議会に参加させていただき、当該概要について説明いたしました。重複しますが、11月24日に市民説明会、年明け1月頃にはパブリックコメントを予定しております。

簡単ではございますが、消防総務課から説明をさせていただきました。

以上でございます。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

こちらにつきまして、ご質問等いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

では、申し上げます。

【石田 晴美委員】今のご説明だと、会館はなくなるんですね。

【消防総務課・鈴木係長】そうです。

【石田 晴美委員】会館の利用者っていうのは結構いらっしゃるんですか。

【消防総務課・鈴木係長】そうですね、年間何回か利用いただいている団体さんはいらっしゃいます。

【石田 晴美委員】年間何回か。そんなに、多くないという。

【消防総務課・鈴木係長】そうですね。

【石田 晴美委員】そんなに利害関係者は多くない。

【消防総務課・鈴木係長】そうですね。

【石田 晴美委員】じゃ、説明会は1回くらいで大丈夫。

【消防総務課・鈴木係長】今のところ1回を計画しているところです。

【石田 晴美委員】町内会にも事前に説明してほしいという。

分かりました。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

こちらもよろしいですか。

適当ということで、進めていきたいと思えます。ありがとうございます。

【消防総務課・鈴木係長】ありがとうございました。

【市民協働課・小野田係長】図書館がちょっと今遅れているところございますので、次11番の企画課のほうをご審査をお願いできますでしょうか。

【牧瀬 稔会長】はい、分かりました。

そろいまして、11番の評価になります。企画課さんのほうから、またお話をいただきたいと思います。

思います。では、どうぞお願いします。

【企画課・四宮課長】評価をお願いするのは調査書3で、別途差し上げております、事業名としては、JRの東逗子駅前の活用事業ということで、昨年度基本計画の策定をした市民参加手続になります。

実施した市民参加手続といたしましては、パブリックコメント、ワークショップ、市民説明会、この3つを実施しております。

それぞれ概要を申し上げます。

まず、パブリックコメントにつきましては、意見の提出数としては8人の方から24件のご意見をいただきました。主な内容は、今回のこの事業自体が市内に幾つかの既存の公共施設を集約して、複合化して、東逗子の駅前に施設を整備するという内容になってございますけれども、その集約、複合する施設の機能の在り方ですとか、管理運営手法、あとは周辺的环境についてや交通の課題等について御意見をいただいたものです。

ワークショップにつきましては、実施は3回実施をいたしまして、資料の記載のとおりですが、7月、9月、10月にワークショップを実施いたしました。ご参加いただく方は、全回連続でご参加いただけるという条件で30名の公募をさせていただいたところ、ちょうど30名ご応募いただいて、実施をしたものです。この参加者に加えまして、若い方の意見ですとか、あと第三者的な視点を加えるということで、包括連携協定を結ばせていただいている関東学院大学の学生の方にもご参加をいただいて、ワークショップを実施したところです。

各回テーマといたしましては、昨今の駅前の用地の使い方、どういうふうな使い方をされているんですかというところから、第2回では、誰もが使いやすく、交流が生まれるような機能配分の在り方、第3回で、駅前を広場として活用されておりますので、そういった屋外の利用の仕方です。人々が交流的ににぎわう魅力的な屋外空間の在り方、こういったテーマで3回のワークショップを通じてご意見をいただきました。

このワークショップにつきましてですけれども、この審査会でいただいていたご指摘の事項がございまして、調書の指摘事項に記載をさせていただいておりますけれども、ワークショップの開催に当たっては、参加者以外からも広く意見がもらえるような工夫を行うこと。あと、ワークショップの概要を開催の都度、公表を検討することというご意見をいただいていたところです。

それに対する対応といたしまして、ワークショップ、当然ご参加いただける人数、限りがございますので、並行してウェブによるアンケートを実施いたしまして、期間も同等の期間、6月

から10月という期間で、ウェブのアンケートを実施いたしまして、こちらは175件、アンケートでのご意見をいただいたということです。これに加えてワークショップの概要、資料として作成して、それぞれの各回にニュースレターという形で概要版にまとめて、広報を実施いたしました。

そのほか、市民説明会につきましては、1月28日に午前中、事業予定地に近い商工会館、東逗子の右手にありますけれども、こちらを会場として、午後に市役所の会議室で説明会を実施いたしました。参加人数は18名、12名ということで、市役所の会議室にも説明会の開催に当たってはオンラインも併用するという形で、ウェブでも参加できるようにさせていただいて、1名の方が実際のオンラインでご参加をいただいて、ご意見をいただいたところです。

説明としては以上です。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

では、こちらにつきまして、ご質問、ご意見等いただきたいと思えます。お願いいたします。

【石田 晴美委員】ウェブのアンケートを実施していただいて、詳細な結果を報告書につけていただいて、ありがとうございます。

ただ、この調査書の中にウェブアンケートを実施して、175件の意見があったと~~って~~いうのは書いていないんですね、調査書には。添付にはあるけれども。

【企画課・四宮課長】失礼しました、はい、そうですね。

【石田 晴美委員】だから、ぜひそこを書いていただきたいということと、あとせっかく良い~~い~~ことをされたので、詳細な結果分析されているんですね。

【企画課・四宮課長】そうですね。当然、アンケートの結果を踏まえて、この基本計画を策定したものです。

【石田 晴美委員】なので、良いことをおやりになっているので、ここの改善事項のところにウェブアンケートを実施して、175件の意見をもらって、さらにそれについて結果分析をして、それを反映したっていうのを書いていただけると、ああ、こういうふうになったんだなっていう。G o o g l eフォームですね、QRコードじゃなくて、G o o g l eフォームから。

【企画課・四宮課長】そうですね。

【石田 晴美委員】誘導はどうやってやっているんですか。

【企画課・四宮課長】チラシを使って、QRコードを読み込んでいただいて、そこから入力いただいています。

【石田 晴美委員】QRコードからG o o g l eフォームに飛ぶようにして。

結構分布は若い人が多いのですか。

年代、一番多いのは。

【企画課・四宮課長】13ページに。

【石田 晴美委員】結構分かれていい感じに。

【企画課・四宮課長】そうですね。ウェブでしたので40代の方までで半数を占める結果となっています。

【石田 晴美委員】でも、ちゃんと30、40、50代いて、よかったですね。

【企画課・四宮課長】はい。

【石田 晴美委員】これって初めてでしたっけ、逗子市でQRコードを使ってこれをやったの。ほかにもやっていたのですか。

ぜひいいことなので、周知を庁内でされて、それにそんなにお金かはかからなかったんですよ。

【企画課・四宮課長】基本計画のコンサルの中で実施したものです。

【石田 晴美委員】分かりました。

【企画課・四宮課長】やろうと思えばそんなに費用をかけずにできると思います。

【石田 晴美委員】分かりました。はい、ありがとうございます。

ですから、どこかで意見あれば、前のほうにもぜひ書いていただきたいと思います。よかったです。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

お願いします。

【中野 良一副会長】ニュースレターの公布とおっしゃいましたけれども、どこにどういう形で公布されたのですか。

【企画課・四宮課長】ホームページにお載せして、当日の参加者の方には、当然参加できなかった方含めて、フィードバックをするような形で公表させていただきました。

【中野 良一副会長】PDFか何かに乗せるという感じですか。

【企画課・四宮課長】そうですね、はい。

【中野 良一副会長】すごくちゃんつくられているので、もっと多くの方に読んでもらいたいなと思ったので。じゃ、ホームページだけということですね。そのために何か配布したりとか、そこら辺に置いて自由に取ってくださいとか。

【企画課・四宮課長】配架までは行っていません。

【中野 良一副会長】沼間のお店に置いてとか、そういうことはないですか。

【企画課・四宮課長】そうですね。ホームページで。掲示板とかではちょっと文字のサイズ的に、掲示板にはなじまないというところがありましたので、まずはホームページのほうで。

【中野 良一副会長】紙媒体というのは考えなかったですか。

【企画課・四宮課長】そうですね。そこまでは手が回りませんでした。

【中野 良一副会長】分かりました。

【石田 晴美委員】ホームページも、例えばQRコードでここに載っていますって言って、QRコードでホームページっていうのはされたのですか。

【企画課・四宮課長】広報に載せられるようなスケジュールのタイミングではなかったため行っていません。

【石田 晴美委員】そういうんじゃなくて、広報じゃなくて、ポスターみたいなもの。

【企画課・四宮課長】ああ、なるほど。

【石田 晴美委員】やっぱり今どき、何かホームページにわざわざ行って見るっていうのはないので。スマホでやって、そこにホームページがあつてというのだったら見るけれどもという。

【企画課・四宮課長】そこまでは、すみません。

【石田 晴美委員】だから、今後のですよ。アンケートの結果のフィードバックとか、会議体の結果のフィードバック、ホームページに公表していますというだけでは、市民にはなかなかたどり着きにくいので、ぜひご検討いただきたいと。

【企画課・四宮課長】はい。

【牧瀬 稔会長】じゃ、こちらは適当でよろしいですか。

どうもお疲れさまでした。

【市民協働課・小野田係長】順番前後します。9番の図書館参りましたので。

【牧瀬 稔会長】続きまして9番、評価案件です。

じゃ、担当課の図書館さんのほうから、説明のほうよろしく願いいたします。

【図書館・塚本館長】では、図書館です。よろしく願いいたします。

それでは、第三次逗子市子どもの読書活動推進計画の策定に伴う市民参加の実施について、評価案件としてご説明させていただきます。

こちら計画につきましては、2018年度に策定した第二次計画が2022年度末で5年の期間を終

了することから、次期5年間の目標を策定するに当たり、市民参加を実施したものです。こちらの市民参加の対象事項の区分としては、(6) 其他市の執行機関が必要と認める行政活動となります。

実施しました市民参加の方法としましては、パブリックコメントとアンケート調査となります。アンケートにつきましては、令和4年1月21日から2月8日までの実施となります。こちらにつきましては、令和4年3月に受けました事前審査におきまして、「事前審査を経る前に実施することは不適切であるため、修正すること」とのご指摘を受けました。

しかしながら、コロナ禍において、学校等の協力を得る必要のあるアンケートの再実施が困難であったことから、この事前に行いましたアンケート内容を計画策定に活用したことであります。

パブリックコメントにつきましては、令和6年2月1日から3月1日まで実施いたしまして、意見はなしということでした。

以上で説明を終わります。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

こちらにつきまして、ご質問等いただきたいと思います。お願いいたします。

【石田 晴美委員】今回の件は、致し方なかったということで、でもまた次回もあるんですよね。次回のときなんですけれども、アンケート、今回は紙ですよ。

【図書館・塚本館長】はい、そうです。

【石田 晴美委員】今、ご父兄の方もみんなスマホ持っているし、そういう形のやり方もお考えになられたほうが。紙だと結局紙で、分析収集っていうのは外部委託ですよ。

【図書館・塚本館長】いや、自己で行いました。

【石田 晴美委員】自己で。500件以上。スマホでGoogleフォームとか使ったほうがうんと楽なので。

【図書館・塚本館長】そうですね。それは、その後にもほかの部署が活用し始めていたもので、次回のときには。

【石田 晴美委員】ぜひ皆さんのお仕事が楽になるように、なおかつ皆さんの意見も、主要な意見も拾って集められるように。今回のこの件についてはオーケーですが、次回以降のときには、是非お願いします。

【図書館・塚本館長】ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

どうぞ。

【中野 良一副会長】パブコメがゼロ件だったのですか。意見はなかったということですか。

【図書館・塚本館長】はい、意見はゼロ件です。

【中野 良一副会長】それに対してどのように、図書館って一般的に非常に興味もそれなりにあると思うんですけども、特に子供さんを持ってらっしゃる方とか、高齢者の方。僕が言いたいのは、コメントの収集の方法もありますし、その内容、パブコメの言葉の選び方とか、そういうのも含めて、パブコメなかった、じゃ、関心がないんだというふうに、それで終わりなのかっていうのが、ほかの案件もそうなんですけれども、どのように、ほか、もし今後、パブコメをこれから修正される機会があるとしたら、こうしたほうがいいかなというのは、何かあるんですか。

【図書館・塚本館長】こちらの意見がゼロだからといって作り上げた計画が万全なものかといったら、そうではないと思っております。そのあたりにつきましては、教育委員会の各委員からも指摘を受けた点でもありますので、ゼロイコールこの計画についてまだ周知され切っていないと思っております。と。その部分につきましては、今後図書館において周知をしていくことが大事ことだと思いました。関心を持ってもらい、その中で計画をもう一度作り直すときに、こういった点を変更したほうが良いという意見は、当然いただいたほうが良いと思いますので、周知の必要性を感じているところであります。

【中野 良一副会長】ありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

よろしいですか。

じゃ、こちらも適当ということで進めていきたいと思えます。どうもお疲れさまでした。

【図書館・塚本館長】ありがとうございました。

【市民協働課・小野田係長】次、10番です。高齢介護課です。

【牧瀬 稔会長】分かりました。

続きまして、ナンバー10です。これ、審査案件になります。

高齢介護課、担当から説明のほうをよろしく願いいたします。

【高齢介護課・金課長】高齢介護課です。

調査書3をご覧ください。

市民参加対象事項の名称は、逗子市デイサービスセンターの廃止です。

別添のこちらのパブリックコメント募集の資料をご覧ください。

池子の高齢センターに隣接するデイサービスセンターは、平成4年に完成し、指定管理者制度等を利用して市がデイサービス事業を実施していました。平成12年から始まった介護保険制度により、市内に民間のデイサービス施設が多数開設され、市としてデイサービス事業を実施していく必要が薄れてきました。

平成29年に指定管理者である法人の事業運営上の原因により、池子デイサービスセンターは休止となり、その後も先ほど述べました理由により、新たな指定管理者の募集は行っておりません。今後も市がデイサービス事業を運営しないことから、デイサービスセンターを廃止するものです。

調査の3のほうに戻ります。

実施した市民参加の方法ですが、広く市民の意見を聞くためにパブリックコメントを実施し、また高齢者福祉認知機能を有する専門家及び公募市民が参加していることから、高齢者保健福祉計画懇話会にて市民参加を行いました。

付表のパブリックコメントをご覧ください。

周知方法、閲覧場所は、付表に記載のとおりです。

パブリックコメントは令和5年9月19日から10月19日まで実施しました。

付表の懇話会等をご覧ください。

公募市民の割合は20%です。また、懇話会は9月1日に開催しました。

調査書3に戻りまして、添付資料は懇話会名簿及びその議事概要、並びにパブコメ資料と結果になります。

以上で説明を終わります。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

評価案件になります。こちらにつきまして、ご質問、ご意見をいただきたいと思います。

どうでしょうか。

【中野 良一副会長】 デイサービスセンターを廃止しますというパブリックコメントの募集の内容、これはもう廃止することは大前提で、その上で何か議論があれば言ってこいという話。

【高齢介護課・金課長】 というよりは、廃止すること自体についての意見を募集という。条例廃止になりますので、そういうことです。

【中野 良一副会長】 廃止することにつき意見を伺うなら分かるんです。廃止しますって書いてあると、どうなんだろうと思いました。

【高齢介護課・金課長】すみません。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

これ、私分かんないですけども、廃止にしたらもうあれですか、そんなに被害というか、関係者が少なく、そんなに大きな市民サービスの低下とかにならないという、そういう何か……

【高齢介護課・金課長】民間のデイサービス機関はたくさんありますので。

【牧瀬 稔会長】それはそうですね。分かりました。

ほかにどうでしょう。もしあれば遠慮なく。

どうぞ。

【釘持 麻衣委員】ちなみにこの懇話会というものは公開されている会議体ですか。

【高齢介護課・金課長】はい、そうです。

【釘持 麻衣委員】特にほかありません。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】じゃ、よろしいですか。

こちら適当ということで、終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

【高齢介護課・金課長】ありがとうございました。

【市民協働課・小野田係長】続きまして、12番、防災安全課。

【牧瀬 稔会長】続きまして、防災安全課さんのほうから、評価案件になります。

では、こちらにつきまして、説明をお願いいたします。

【防災安全課・佐藤専任主査】防災安全課の佐藤です。よろしくをお願いいたします。

逗子市国民保護計画の変更について、ご説明させていただきます。

逗子市国民保護計画、この計画は国民の安全を脅かす事態が発生し、またはそのおそれのある場合に、国民の生命、身体、財産を保護するために、市の責務を明らかにして、市民の保護に関する計画となっております。さらに武力攻撃事態等において、市の市民保護措置を的確かつ円滑に実施をするために、これは国の国民保護法第35条に規定に基づき作成されたものであります。本市につきましては、平成19年3月に逗子市国民保護計画を作成しております。その後、2度変更しております。

今回につきましては、国の基本指針でありますとか、神奈川県国民保護計画、さらに経年による修正のため、最後に変更いたしました平成28年5月以来、7年ぶりに3度目の変更をしたものでございます。

市民参加の方法といたしまして、懇話会とパブリックコメントを実施いたしました。懇話会につきましては令和5年5月16日及び6月5日の2回行いました。

内容につきまして、1回目の審議会につきましては、メンバーにとってあまりなじみのない国民保護計画の説明、それから変更を考えている内容、そして変更までのスケジュールについて説明をさせていただきました。また、そのときの配付物として修正素案を、それと新旧対照表を提示をしております。

今回の懇話会までの期間に、意見を聴取した結果、6件の意見が提出されましたが、意見がほとんどにつきましては、この国民保護に関する質問事項か、直接計画に反映するものではなくて、今後の参考とする内容というものでした。2回目の審議会につきましては、メンバーからいただいた意見に対する回答とか、補足説明を行いました。この2回の審議会をもちまして、国民保護計画の修正の素案についての懇話会としての承認を得ることができました。先般のこの市民参加制度審議会におきまして、懇話会における公募市民の割合について、構成員の5分の1以上となるように努力するようということのご意見をいただいております。

今回の懇話会につきましては、名簿をご覧になっていただければと思いますが、市民の割合18名中6名ということで、約33%以上を占めておりますので、そういう意味では成果がございました。しかしながら、1回目、2回目とも6名の公募市民のうち3名が実際に会議には欠席となり、書面での説明会となってしまいました。今後はよりきめ細かな日程の調整に努めたいと考えております。

次に、パブリックコメントにつきましては、令和5年8月28日から同年の9月29日までの33日間実施いたしました。この国民保護計画は防災の計画とは違いまして、国の責任において実施をされるために、多様な主体が国からの指示が県を通じて市に示されるということでありますので、全国自治体の国民保護計画は、共通性が非常に高いものであります。そのような計画の性格上、やはり市民の方が意見を出しにくいといった面があったのかもしれませんが、提出された意見数につきましてはゼロ件でございました。

なお、この本計画の変更につきましては、このパブリックコメント終了後に、県の関係部局と事前共有を行って、市の国民保護協議会としての協議が必要な内容を整理した後に、逗子市国民保護協議会を3月22日に開催をして諮問をいたしました。その結果、承認をされております。その後、県知事等の正式協議が終了いたしまして、年度が変わってしまいましたが、今年、令和6年度4月12日、計画の変更が完了し、現在は公表しているという状況でございます。

今回の変更の事業につきまして、このような形で市民参加の条例の процедуруを終了させたところ

でございます。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

こちらにつきまして、ご意見等いただきたいと思います。お願いします。

【石田 晴美委員】審議会での前回の指摘事項が構成員の5分の1以上となるようにということで、この調査書の3の真下に、だからどうなったのっていうのを書く欄があるので、そこにぜひご記載いただきたい。結局オーケーだったんですね。

【防災安全課・佐藤専任主査】はい。

【石田 晴美委員】それも表書きにさせていただきたいということで、以上です。

【防災安全課・佐藤専任主査】分かりました。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

お願いします。

【中野 良一副会長】市民委員の参加者、欠席が多いということで、日程調整がつかない。日程調整がつくようなこう……

【防災安全課・佐藤専任主査】何度か候補日を提示して、その中で一番集まる日に開催しましたが、それをもっと早い時期にするとかもっときめの細かい調整を行い今後はできるだけ参加を促せるようにします。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

では、こちらも適当でよろしいですか。

じゃ、適当ということで、進めていきたいと思います。どうもお疲れさまでした。

【防災安全課・佐藤専任主査】ありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】お願いします。

じゃ、続きまして、13番です。評価案件になります。環境都市課のほうから説明をお願いいたします。

【環境都市課・谷津主任】それでは、無料駐輪場増設に係る自転車等放置禁止区域の指定の変更について、実施いたしました市民参加の手続についてご説明をさせていただきます。

手法につきましては、パブリックコメントと説明会のほうを実施いたしました。

まず、パブリックコメントにつきましては、周知につきましては市のホームページ、広報ずし、その他の直接周辺住民に周知文を持ってご説明にお伺いした際に、その文書の中に実施の

項目についても記載させていただいて、周知をさせていただきました。

実施期間につきましては、6月1日から6月30日までの30日間実施いたしまして、ご意見につきまして、お一人の方から2件のご意見をいただきまして、意見の内容につきましては、直接計画について反映するというものではなくて、参考意見として扱うような内容でして、お一人の方からのご意見でしたので、直接その方にも電話でご連絡をさせていただいて、ご説明のほうをさせていただきました。

次に、説明会ですけれども、こちらのほうも周知につきましては、ホームページ、広報とし、また先ほどお話しいたしました周辺住民にご案内をさせていただいた際の周知文のほうにも記載をさせていただきました。

日にちにつきましては、5月7日の日曜日と、5月16日火曜日、その2回実施いたしました。参加人数は2回ともゼロ人でした。

実施しました市民参加の実施についての説明は以上となります。

【牧瀬 稔会長】 ありがとうございます。

では、こちらにつきまして、ご質問等いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

よろしいですか。

土日にしていただいても来なかったという、仕方がないですね、これは。

では、こちらは適当ということで、終了したいと思います。どうもありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】 続きまして、ナンバー14、都市整備課さんのほうから、評価案件であります。

説明をお願いいたします。

【都市整備課 津金係長】 そうしましたら、都市機能の整った快適なまち推進プランの見直しについて、市民参加の内容について説明させていただきます。

本対象事項としましては、中期実施計画策定に伴いまして、都市機能が整った快適なまち推進プランの見直しを行っております。

市民参加の対象事項の区分としましては、(1)の市の総合計画その他市政の基本的な事項を定める計画もしくは基本方針の策定または変更となっております。

主な対象者は逗子市民となっております。市民参加の方法としましては、パブリックコメントと懇話会を実施しております。懇話会につきましては3回実施しております。令和5年5月17日、令和5年8月21日、令和5年10月26日に実施しております。

パブリックコメントに関しましては、令和5年12月15日から令和6年1月19日まで実施して

おりまして、3名のご意見をいただきまして、3名で8件、ご意見いただいております。

市民参加手続としましては、以上となります。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

こちらにつきまして、ご意見、ご質問等いただきたいと思います。お願いいたします。

よろしいですか。

こちらも適当ということを確認したいと思います。

どうもありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】よろしく申し上げます。

では、続きまして、ナンバー15、国保健康課さんのほうから評価案件について説明をいただきたいと思います。では、よろしく申し上げます。

【国保健康課・小上馬課長】よろしく申し上げます。

国保健康課では、逗子市自殺対策計画の策定ということで、市民参加手続を行っております。

対象事項の区分については、1番の市の基本方針の策定または変更、今回は変更に当たります。こちらに該当しております。

実施しました市民参加の方法は、パブリックコメントと懇話会になっております。

パブリックコメントにつきましては、令和6年1月22日から2月20日まで、こちらで実施しまして、周知方法につきましては、ホームページ、また広報ずしへの掲載という形になっていきます。

閲覧場所につきましては、通常の場合に加えまして、子育て支援センターと社会福祉協議会に依頼をしまして、福祉会館で閲覧ができるように行いました。結果としましては、意見の提出はございませんでした。

懇話会につきましては、年3回、7月25日、10月23日、12月19日で行いました。こちらでの意見をいただきまして、計画の変更に反映をしたというような形となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。お願いします。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

では、こちらにつきまして、ご質問、ご意見をいただきたいと思います。どうでしょうか。

よろしいですか。

では、こちらも適当ということで、了解したいと思います。

どうもお疲れさまでした。

【国保健康課・小上馬課長】ありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】続きまして、ナンバー16、評価案件です。まちづくり景観課さんのほうから説明をいただきたいと思います。

では、よろしく申し上げます。

【まちづくり景観課・三澤課長】まちづくり景観課長の三澤です。よろしく申し上げます。

それでは、早速説明をさせていただきます。

逗子市まちづくり条例は、本市の都市整備について、青い海と緑豊かな平和都市を実現するため、まちづくりの基本原則と定めるとともに、市民参加によりまちづくりを推進する推進に関する事項と、適正な土地利用に関する手続及び基準を定め、2002年7月に施行されました。まちづくり条例では、基本原則の推進を目的としたまちづくり基本計画を定めるものとしており、都市計画に関する基本的な方針であった都市計画マスタープランを包含した形で平成19年12月に計画策定し、その実現に努めてきましたが、2015年3月に総合計画と一体化され、市が目指す都市計画の方向性等を分かりやすくするために、2023年に地域実施計画の策定に併せて、2004年度中に組織計画マスタープランを再策定することになりました。

これらの経緯を踏まえ、主に秩序ある土地利用に資する条例としての本来の機能向上を目指し、まちづくりの原拠を整理するとともに、現在あまり活用されていない市民参加のまちづくり手法の合理化を図りました。

市民参加制度審査会については、令和5年度第1回において適当という審査結果をいただいたことから、調書3のとおり実施しましたのでご報告いたします。

市民参加の方法は市民の方に参加いただいているまちづくり審議会への諮問、市民説明会、パブリックコメントを実施しました。

まちづくり審議会の委員は資料のとおり、9名中5名が市民委員となっております。この中で5月29日、8月16日、10月16日計3回の審議を経て改正案を作成し、11月19日に市民説明会をこの庁舎で開催いたしました。1名の参加でしたが、改正後にはどのようなことをされるかといった質問がありました。このため改正案を用いて令和5年12月4日から令和6年1月10日までパブリックコメントを実施しましたが、意見等は特にありませんでした。そのため、令和6年度第1回定例会に上程し、3月29日付で改正されました。

市民説明会、パブリックコメントについてはあまり参加者がいなく、意見もないということでしたが、改正の内容が市民の日々の生活に直結するものではないことから少なかったのでは

ないかと所管では分析しております。

以上で説明しております。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

こちらにつきまして、ご質問等いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

よろしいですか、こちらも。

では、こちらも適当ということにしたいと思います。どうもお疲れさまでした。

【まちづくり景観課・三澤課長】ありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

今度はこちらをちょっと書面審査ということですよ。

各自チェックをしてもらって、確認したほうがいいですよ。

では、どうしましょう。20分ぐらいでできますか。

【石田 晴美委員】結局はもう時間たっぷりあるので、これについてどうですかという。これを見るのは今日初めてですよ、3人の方が。

じゃ、各報告5分でいけるのですか。

【牧瀬 稔会長】20分ぐらい。

【石田 晴美委員】20分で、一つ一つに2分読んで、ありますかみたいな感じですか。評価だからもう1分でどんどんやっていたほうが。1分見て。

【牧瀬 稔会長】そうですね。

【石田 晴美委員】あと、ちょっとその評価に入る前に、今回対面と書面に分かれたっていうのは、結局審議の件数が多かったからだと思うんですけども、どういうふうな選択基準にされたんですか。

【市民協働課・小野田係長】各委員の皆さんに、今回、案件30件ございまして、審査の案件につきましては全て必要だと思ひまして、もう一つが審議会から意見があったものに関しては、今回全て対面しております。今回特にご意見がなかったものに関して、皆さんのほうに少し送らせていただいて、こういったものが、いかがでしょうかとお願いしていただいています。

【石田 晴美委員】はい、分かりました。オーケーです。失礼しました。

じゃもうどんどん。

【牧瀬 稔会長】そうですね。

【市民協働課・小野田係長】これからの書類に関しては、基本的に審査会からのご意見がない

ものと考えていただければと思いますので、全て適当でいっているものになります。

【牧瀬 稔会長】そうです、そうです。はい、分かりました。

【市民協働課・新倉次長】審査の段階でご意見が。

【牧瀬 稔会長】じゃ、順次やっていこうと思うんですけども、係長から簡単に説明していただきまして、それで、皆さんに議論していきたいなど。いいですか、係長。

【市民協働課・小野田係長】はい、分かりました。

【牧瀬 稔会長】そちらに入っていただきまして、例えば一番最初は1号ですので、ガイドラインの7ページを見てもらって、これ見るとパブリックコメントとその他にちょっと書いていますので、それはちゃんと説明していただいて、チェックをして、適当か適当じゃないかということを確認できたらいいなと思います。

【市民協働課・小野田係長】分かりました。

【牧瀬 稔会長】お願いします。

【市民協働課・小野田係長】まず17番の案件です。逗子市スポーツ推進計画の策定に関する評価でございます。

内容に関しましては、パブリックコメント、そして懇話会、そして意向調査といった形で進んでおりまして、基本的に質問事項に対して意見を求めることが来ていますので、意向調査実施に当たり、質問項目について事前に委員さんが語っていたもので反映したという流れになっております。

内容に関しては付表のほう、基本的に同じパブリックコメントの周知、広報で頑張っていることは、制度の中でやっていると考えております。

懇話会とそしてアンケート、こちらのほうを実施しているという流れになっております。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

こちらは一応ルールに基づいて実施してしまして、全て一応クリアしてやっているということですか。こちら、パブコメは何件あったんですか。

【石田 晴美委員】ゼロ。

【牧瀬 稔会長】ああ、ゼロ件、はい。

仕方がないって言うのはあれですけども、結構やっぱり多いですね。

じゃ、こちらよろしいですか、適当ということで。

【牧瀬 稔会長】じゃ、続けていきたいと思います。

じゃ、続きまして、ナンバー18ですね。

また、簡単に説明をお願いします。

【市民協働課・小野田係長】では、ナンバー18番、調査書3です。こちらも評価のほうになります。

逗子市文化振興基本計画の策定についてでございます。

この内容もパブリックコメント、そして懇話会、意向調査、恐らく先ほどの同じような形で実施をしているといったところでございます。

こちらも付表のほう、文化振興基本計画の策定推進会議、こちらのほうの統合の、市民の方入っていらっしゃる場所も確認しております。

同じく付表の2ページ、裏面です。

こちらのほうのアンケート、無作為という形で2,000件調査を行っているといったところでございます。2,000件に対して600件程度の返信、回収率30%という形でアンケートの結果が出ているといったところでございます。

これに関してもパブリックコメント、意見としては4件いただいているといったところでございます。

説明は以上でございます。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

こちらもあれですか。次回の改定時以降はQRコードなど、回答しやすい工夫をしてもらおうといったことです。あとについては、一応基準は満たしていますので適当ということで、よろしいですか。

じゃ、こちらは適当にしたいと思います。

【牧瀬 稔会長】続きまして、19ですか、お願いします。

【市民協働課・小野田係長】次、19番です。こちらも調査書3をご覧ください。

逗子市下水道事業計画戦略の改定についてでございます。

こちらはパブリックコメントと審議会、こちらのほうで市民参加を進めていくといった状況でございます。

審議会、こちら逗子市下水道事業運営審議会です。全体数7人に対して公募市民の方5名です。少し多めな、公募市民の意見を聴取していると思っております。

付表の3の1ページめくっていただくと、審議会の委員名簿入っておりますが、公募の方が5名ということで、そうですね、選出団体というよりも、公募の方が多く選出されて、市民の意見を収集していると思います。

説明は以上でございます。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

こちら基本的には基準を満たしていますので、適当でよろしいですか。

ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】続きまして、財政課さんのナンバー20をお願いします。

【市民協働課・小野田係長】では、次にナンバー20番です。

逗子市公共施設等総合計画の一部改正ということで、財政課の案件でございます。

こちらの内容もパブリックコメント、審議会です。こういう形で市民参加を進めているといったところでございます。

付表の3です、ご覧ください。

逗子市行財政改革推進懇話会、こちらのほうで、公募の方2名、事業体10名ということで、割合20%という懇話会になっております。

そして、こちらパブリックコメントを行っております、件数としては7件の意見が出ております。内容等々諮った上で事業を進めているといった状況でございます。

説明は以上でございます。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございました。

こちら適当でよろしいですか。

ちょっとこれ質問というか、公募市民の方が座長をしているんですね、こちらは。

【市民協働課・小野田係長】そうですね。

【牧瀬 稔会長】あまり顔を見ない方。

【市民協働課・小野田係長】こちらの方は、私もよく存じ上げて。

【牧瀬 稔会長】もともと公募市民の方がたてていて、たまたま大学を引退したとかなんですか。ちょっとなかなか見ないなと思いましたがけれども。

【市民協働課・小野田係長】この方は、我々もよくご存じの方で。

【牧瀬 稔会長】ああ、そうですか。

【市民協働課・小野田係長】非常に市民の方の取りまとめが……

【牧瀬 稔会長】 うまい方、ああ、そうなんですか。

【市民協働課・小野田係長】 これは今回、公募という形ですけれども、ほかのいろんなところの自治会長ですとか、そういったことをやられている方で。

【牧瀬 稔会長】 ああ、そうなんですか。分かりました。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】 じゃ、21番、お願いいたします。

【市民協働課・小野田係長】 では、引き続き21番です。

課税課の案件でございます。

返子市市税条例の一部改正（長寿命化に資する大規模修繕の工事を行ったマンションに係る固定資産税の減額措置の創設）という形で、条例の制定、改廃のところに当たると思われます。

内容に関しては、パブリックコメントと、こちらは市民説明会です。行っているという形で、市民参加を進めているといったところでございます。

市民説明会を開催しておりまして、参加人数19名ということで、市民の方19名いらっしゃいますので、意見を募集した上で、パブリックコメントを行っていると把握しております。

説明は以上でございます。

【牧瀬 稔会長】 こちらは前回の審査会で、説明会は複数回お願いしたいということを書いて、なしっていう。やらなかったという内容なんですけれども、もちろん強制力はないですけれども、これやらなかった理由があると思いますので、確認してもいいかな。何かあったんですかね。そんなに負荷ではないと思うんですけれども、やらない理由が何かしら。結局1回しかやっていませんので。

【市民協働課・小野田係長】 そうですね、ちょっと確認させていただきます。

【牧瀬 稔会長】 そうですね。もし確認できたら、後日委員の先生方全員に、ちょっとメール等で教えてもらえばなという。これが普通になっちゃうと、今後、指摘してきてもやりませんになっちゃうと意味がないと思いますので、何かしら理由が必要かなと思います。

【市民協働課・小野田係長】 かしこまりました。

【牧瀬 稔会長】 ほかにありますか、こちらにつきまして。

よろしいですか。

中身については適当ということで、それだけ確認してもらえばなと思います。

【市民協働課・小野田係長】 はい、分かりました。

【牧瀬 稔会長】引き続きまして、22番をお願いします。

【市民協働課・小野田係長】続きまして22番ですね。

第7期逗子市障がい福祉計画と第3期逗子市障がい児福祉計画の策定でございます。

内容に関しては、こちらもプランの策定ですから、懇話会とあとはパブリックコメントという形でございます。

先ほどの3の付表をご覧ください。

逗子市障がい者福祉計画策定等検討会ということで、検討会を4回行っております。公募市民の方も3名いらっしゃるといったところでございます。

【牧瀬 稔会長】よろしいですか。

こちらはどうですか。何かありますか、気になった点とか。

よろしいですか。適当で。

どうぞ。

【中野 良一副会長】パブリックコメントの結果について、公表というか、配架されていらっしゃるみたいですがけれども。

【市民協働課・小野田係長】はい、しております。今回3人の意見で9件のパブリックコメントをいただいておりますので、こちらも既にパブリックコメントを配架したところ、こちらに書いてあるとおり情報公開課ですとか、担当課、あとは市のホームページに公開しているといったところでございます。

【中野 良一副会長】これはほかのところもやっていたつけ、こういうこと。

【市民協働課・小野田係長】はい、ほかのところもやっております。

我々市民協働課がこのパブリックコメントの公表ですとか、まさに市民参加制度の管掌課になりますので、流れとして、必ずパブリックコメント、そしてほかの懇話会、審議会をやっていただいた上で、結果も含めてホームページに公表するように依頼しておりますので。

【中野 良一副会長】はい、分かりました。

【牧瀬 稔会長】ほかにどうでしょうか。

それでは、こちらも適当で進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】では、23番をお願いします。

【市民協働課・小野田係長】では、23番です。

第2次逗子市環境基本計画及び地球温暖化の対策実行計画でございます。

こちらの内容は4つです。

パブリックコメント、そして環境審議会、そして説明会を開催しているといったところがございます。

3の付表をご覧ください。

逗子市環境審議会です。こちらにも公募市民の方4名、全体数10名ということで、2回実施しているということでございます。

同じく裏面見ていただきますと、環境政策の見直しという形で説明会を行っております。前回ですかね、開催しております、市民の方6名の参加をいただいているといったところがございます。

【牧瀬 稔会長】こちらにつきまして、どうでしょうか。

よろしいですか。

では、適当にしたいと思います。

【牧瀬 稔会長】続きまして、24番ですか、お願いします。

【市民協働課・小野田係長】同じく環境都市課です。

立地適正化計画、都市計画マスタープランの策定ということで、市民参加で行っております。

内容については、パブリックコメント、審議会、そして説明会、オープンハウスということで、ちょっと違う形のものになっているようでございます。

付表を見ていただきますと、都市環境審議会ということで、やはり開催3回行っているところと裏面のところで、市民説明会、全部で4回行っております。

そして、このオープンハウスというのが、市のホームページ、広報ずしで周知しております、市民まつりですとか、そういったところに関してブースを出店して、117名の来場があったということで、広く市民に周知したといったところがございます。

【牧瀬 稔会長】こちらにつきましてはどうでしょう。

よろしいですか。

では、こちらにも適当にしたいと思います。

【牧瀬 稔会長】25番をお願いします。

【市民協働課・小野田係長】25番です。

こちら消防になります。逗子市消防団第3分団の詰所建て替え計画でございます。

こちらの内容も、パブリックコメントあとは説明会です。こちらのほうを今開催して、進めたといったところでございます。

そして、説明会のほうのお話は、付表の表です。第3分団の詰所の説明会ということで、開催1回、参加人数12人ということで、市民の方6名参加という形でございます。

説明会とパブリックコメントの実施という形でございます。

【牧瀬 稔会長】こちらどうでしょうか。

よろしいですか。

じゃ、こちらも適当にしたいと思います。

【牧瀬 稔会長】続きまして、26番の保育課です。お願いします。

【市民協働課・小野田係長】次、保育課です。26番。

久木小学校区の放課後児童クラブの移転についての市民参加でございます。

内容に関してはパブリックコメント、あとは子ども・子育て会議での審議会、そして説明会と、あとワークショップとなっております。

内容に関しましては、逗子市子ども・子育て会議の表の表面でございます。1回開催してとあったところと、裏面を見ていただいて、ワークショップです。児童ワークショップをこちらでも1回、こちら参加多いです。41名市民が参加している状況でございます。

そのあと、市民の説明会です。保護者説明会を行っておりまして、こちらは2名の参加になっております。

説明は以上でございます。

【牧瀬 稔会長】こちらにつきましては、どうでしょうか。

よろしいですか。

では、適当にしたいと思います。

【牧瀬 稔会長】では、27番、お願いいたします。

【市民協働課・小野田係長】次、27番です。

情報公開課の評価案件でございます。

逗子市情報公開条例の改正でございます。

内容に関してもパブリックコメント、審議会という形で進めておりまして、付表の表面でございます情報公開運営審議会、こちらの方、公募市民の方5名ということで、多めの委員会に

なっております。1回開催をして、パブリックコメントを実施するといった流れでございます。

【牧瀬 稔会長】こちらにつきまして、どうでしょうか。

【石田 晴美委員】すみません、審議会なんですけれども、市民の方多めなんだけれども、1期2年ですか。何か4期目っていう方が結構いらっしゃるんです。

【市民協働課・小野田係長】4期目は8年です。1期2年ですので。恐らく相当数。

【石田 晴美委員】それは再任を妨げないという形なんですか。

【市民協働課・小野田係長】おそらく再任……

【石田 晴美委員】市民公募で再任じゃなくて、また手が上がったということですね。

【市民協働課・小野田係長】そうです。公募ごとにやっているのです。

【石田 晴美委員】結局そんなに人数が、多かったら新しく入れ替えるけれども、多くないので、そのまま入るという形ですね。

【市民協働課・小野田係長】そうですね、そこで新しい方優先という形で、いろんな方に市民参加していただきますので、いないと、何回でもというところですよ。

【石田 晴美委員】はい、承知しました。

【市民協働部・新倉課長】公募が基本ですので、同じように手を挙げていただいたという考え方です。

【石田 晴美委員】はい。

【牧瀬 稔会長】ちなみに、逗子市さんは、委員の方は最大何期までとかって決まっているんですけど。決まっていなかったんですけど。さっき、8期とか、9期とかあった気がするんですけど。

【市民協働課・新倉課長】規定上は何期というのは特に設けてじゃない。運用上で3期とかっていう形ではやっていますけれども、だから、そのときに、やっぱり誰もいないというわけにはいかないかと思っております。

【牧瀬 稔会長】はい、分かりました。

では、適当ということでやっていきたいと思っております。

【牧瀬 稔会長】続きまして、28です。これ、お願いします。

【市民協働課・小野田係長】市民協働課の案件で、逗子市地域活動センターの一部改正ということで、我々15館ある地域活動センターの一つ、南ヶ丘自治会館が廃止という形でございます。

ちょっと説明してしまうと、耐震基準に達していない建物でして、早急に取壊しが必要とい

う形で条例改正を行いました。

内容に関してはパブリックコメントと、あとはこれは市民の方の説明会です。実施させていただいております。

内容に関しましては、南ヶ丘自治会館の廃止に係る市民説明会を8月に行わせていただいております、市民の方12名、参加していただいております。

その話を受けまして、パブリックコメントを実施しまして、条例改正、そして今回も令和5年3月で、こちら廃館にさせていただいて、令和6年の4月には取壊しを行っております。そろそろ工事も終了するのではなかろうかといったところでございます。

以上です。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

こちらにつきましては、どうでしょうか。

よろしいですか。

では、適当でいきたいと思えます。

【牧瀬 稔会長】では、29番、お願いします。

【市民協働課・小野田係長】29番、高齢介護課の案件です。

第9期逗子市高齢者の保健福祉計画の策定ということでございます。

内容に関しては、パブリックコメント、あとは計画懇話会、そして、あとアンケートの実施を行っているところでございます。

付表のほうをご覧ください。

逗子市高齢者保健福祉計画支援審査懇話会を実施しております、公募が3名。事業者15名です。全部で6回実施しているところでございます。

同じく、令和4年度にアンケート調査を実施しております、この内容を踏まえた上でパブリックコメントを実施したと考えております。

以上でございます。

【牧瀬 稔会長】こちらどうでしょうか。

【石田 晴美委員】すみません、確かに調査書3に令和4年度にアンケート調査を実施と書いてあるんですけども、どれぐらい実施したとかというのは、書いてほしかったなという。

【市民協働課・小野田係長】そうですね、内容が少ないです。ちょっとここを確認させていただきます。

【石田 晴美委員】 はい。

【牧瀬 稔会長】 じゃ、適当でよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】 最後です。30をお願いします。

【市民協働課・小野田係長】 最後です。30番、まちづくり景観課でございます。

逗子市マンション管理適正化推進計画の策定でございます。

内容に関しましてもパブリックコメント、そしてあとは説明会です。こちらのほうを実施しているといったところでございます。

説明会です。令和5年8月に行っております。こちらの逗子の市役所で行っておりまして、市民の方19名の参加をいただいております。この内容を踏まえて、パブリックコメントを実施したというところでございますが、意見はゼロという形というところでございます。

以上で説明を終わります。

【牧瀬 稔会長】 ありがとうございます。

こちらにつきまして何かございますか。

よろしいですか。

じゃ、適当ということできたいと思います。

ありがとうございました。

【牧瀬 稔会長】 ナンバー1からナンバー30まで全て適当ということなんですけれども、例えば、ナンバー5は、QRコードを使ったアンケートもやってもいいんじゃないかということですよ。これはナンバー5だけではなくて、全庁的に改めて周知をしていただければなと思います、全庁的にということ。ナンバー9というのは、次回の改定のときは、QRコード、幾つか提案ありましたので、全庁的に周知していただきたいと思います。

あと、ナンバー21は、説明会を市民に対して、急にやらなかったという回答だったので、その1回にした理由というものを確認していただいて、メールとか何かでちょっと投げかけていただければなと思います。これが普通になっちゃうと、これをやる意味なくなっちゃうので、確認していただければなと思います。

【市民協働課・小野田係長】 皆様に確認してご説明いたします。

【牧瀬 稔会長】 それ以外について、何かございますか。

ないですか、よろしいですか。

まだ、若干時間ございますので、酒井委員、まだご発言されていませんので、感想で構いませんので、どんなことを思ったか、ちょっと感想をいただければなと思うんですけども。何でも構いませんので。どうぞ、何か一言ぐらい感想をいただければ。多分、分からないと思うんです、いきなり来たと思いますので。

【酒井 一豊委員】審査会に関係ないかもしれないんですけども、この15番、逗子市自殺対策計画。

最近自殺というのを自死という表記があるんですけども、その辺の、審査とは関係ないんですけども、これは何か使い分けているようなことがあるんですか。

【市民協働課・新倉課長】自殺と自死って、たしか使い分けがありまして、遺族の方を表すときには、自死遺族というような表現を使われているというふうに。

【酒井 一豊委員】何か自殺というと、自分で殺すというのは。

【市民協働課・新倉課長】厚生労働省のほうでも使い分けがあったかと思うんです。

【酒井 一豊委員】すみません。全く関係ないんですけども。

【牧瀬 稔会長】また、さっきのナンバー20でしたっけ、に併せて、メールなんかでいただければと思いますけれども、もし、分かったら。私も関心ありますので。確かにそうかなっていう気はします。

【市民協働課・小野田係長】こちらも併せてお伝えいたします。

【牧瀬 稔会長】森田さん、感想でも構いませんので紹介されて、何か分からなかったよでもいいですし、どうでしょうか。

【森田 房江委員】全く初めてで、たくさんの資料で検討する時間の速さを体験しまして、とても市の流れがよく分かりましたし、参加してよかったと思いますし、今回のこの理解を、今度次のときに、より勉強するべきことも分かりましたので、そのときにはまたしっかりとコメントができるようになりたいと思います。

【牧瀬 稔会長】ありがとうございます。

じゃ最後に、副委員長のほうから、勝手に副委員長にしちゃったんですけども。何か一言いただいて。では、ちょっとお渡ししようと思います。

【中野 良一副会長】どうしても一言、毎回出るたびに思うんですけども、パブリックコメントをやりました。ゼロ件ですっていうのが、何ていうの、言い訳っていうんですか、何かやりましたよと、一応、市民の意見を聞くような形は取りましたよというのか、もっと市民の意

見を聞きたかったんだけどもってというような熱意が各課にあるのかということが、どうしても市民の一人としては気になっておまして、そこら辺がその方法に問題があるのか、意欲というか、何かそこら辺の問題なのか、聞いてみたいと思うんですけども、なかなかです。

【市民協働課・新倉課長】その点に関しまして、やはりパブリックコメントを始めますよというのが、やりますよというのが広報でお知らせをする。広報でお知らせといっても、やはり広報誌面が限られているので、小さな記事になってしまうもので、パブリックコメント開始するときに、ホームページの新着情報、そこに必ず出すようにしてしまっていて、結果の公表も必ず出すってということで、ちょっとそれは今年度から始めた新たな試みです。

先ほど石田委員のほうからもお話がありましたけれども、掲示板にQRコードだけでも張って、やっていますというのが、分かるような方法っていうのは、すごくいい案なのかなと思いますので、それをこちらのほうでも全庁的にまた周知をして、工夫の一つとしてやってもらえるように、やるようにということで進めていければと思います。

先ほどのウェブアンケートの件もそうなんですけれども、広く皆さんの意見を聞く手段としては、いろいろあったほうがいいと思いますので、どんどん新しい手法が出てきていますので、それに併せて、従来の手法だけでなく、検討していく必要もあるかなというふうには思いますので、そちらは我々事務局のほうでも少し工夫をしていきたいと思っております。

【石田 晴美委員】小・中は市立だけれども、高校は県立じゃないですか。逗子市にも県立高校あるんですか。

【市民協働課・新倉課長】県立高校は逗子葉山高校というのが一つだけあります。

【石田 晴美委員】一つだけ

今、成人年齢も18歳なので、政治参加、きちんとした有権者を育てていかないと。有権者を育て意思決定をきちんとできるようにってことだと。やっぱり子供たちを巻き込んだ、何かそういった工夫みたいなのをしないと、パブリックコメントと言われても、パブリックコメントが何かを知らないはまだまだ多くいると思います。私たちの意思決定というのは投票行動だけではなくて、身近な市政に対して、こういう何か新しいことをするときには、意見を聞くというものがあるんだということを教育とか、子供たちからやらないと。

いつもこのQRコードを見れば、パブリックコメントを今何件募集しているか分かるよぐらいにしていかないと思います。難しいとは思いますが、確かに副委員長おっしゃるように、ないのは関心がないからじゃなくて、それが何だか分からないし、するとどうなるのかも分からないし、そこで意識を、啓蒙っていうんですか、啓蒙対策みたいなのを何かあつ

たらいいかないと思います。あと今回、評価案件が多かったじゃないですか。評価があると、今回初めての方も多と思うんですけども、評価のときに前回の審査会での審査結果の指摘事項がない、誰も言っていないんだと思うと、こちらもなかなか言いづらいんですよ。なのでやっぱり審議するときに、きちんとっておけば、したか、しないとか、はっきり分かるので、評価よりは審議は大事だなっていうの思いました。審議だったら「これじゃ市民に届かないよ」と言える。それこそ、市民公募の委員の皆さんが言えるところだと思います。前回、何も指摘しなかったのに、「これはよくない」というのは、なかなか言えないので。今回は評価が多かったの。審査が多いのはいつでしたっけ。

【市民協働課・小野田係長】 次の3月になります。

【石田 晴美委員】 承知しました。

【牧瀬 稔会長】 ほかによろしいですか。

【釘持 麻衣委員】 追加でお伺いして。

今回机上配付されたこの逐条解説とガイドラインは、令和6年2月改定ってあるんですけども、どういうことを改定されたのか、ちょっと、分かる範囲で。変わったことがあれば。

後で構いませんので。私もちょっとこれ初めて見るので、すみません、もう一回勉強します。

【市民協働課・小野田係長】 この説明は、こちらのほうもメールか何かで皆様に。

【牧瀬 稔会長】 そうですね、メールでお願いします。

【石田 晴美委員】 あと、牧野先生に。今回、初めての公募の方に、この取組というのは結構先進自治体、何ですよ。

【牧瀬 稔会長】 そうですね。あまりやっていないです。神奈川県内ですと厚木市ぐらいですかね。あと、茅ヶ崎市がちょこっとやっているぐらいですか。茅ヶ崎は来年一遍なので、毎年やっていませんので、かなり先進かなという気がしますね。先進であるし、ただ手間暇がかかるので、皆さんやりたがらないという、そんな状況ですかね。いいと思います、こういう取組は。

【石田 晴美委員】 ありがとうございます。

【牧瀬 稔会長】 ありがとうございます。

じゃあ、本日予定していました議事は全て終了いたしました。

以上で、こちら制度審査会は終了いたします。

— 了 —